

一般質問(要旨)

養護学校スクールバス乗務員の安定雇用は

委託契約の内容を見直し対応

議員(共産) 養護学校のスクールバス運行について、乗務員や介助員の交代が相次いでいる状況にある。介助員は県の直接雇用にし、複数配置を推進すべきである。また、委託先へ乗務員の安定確保を義務づけるべきと考えるが。

知事 養護学校のスクールバス運行は今後民間業者に委託していく。また、介助員は、児童生徒の状況を考慮して配置する。さらに、各学校と協力し乗務員の資質向上に努める。乗務員の安定雇用については、委託契約の内容を見直し対応している。

議員 県内の母子家庭は三万二千世帯、その六割が年収二百万円以下である。母子家庭に対する医療費給付制度の自己負担と所得制限を撤廃すべきであると考えている。また、国が進める母子家庭自立支援給付金事業の中で、県が未実施



通学の手段である養護学校スクールバス

情報モラル教育への対応は

家庭へのリーフレットを作成

議員(民主) 就業相談やキャリアカウンセリング等を行う「ジョブカフェいばらき」の意義は大きく、就職を考える若者にさらに利用されるべきであると考えているが、これまでの成果の評価と事業内容のさらなる充実に向けた所見を伺う。

知事 利用者数も順調に推移し、利用者から役立ったとの声をいただくなど大きな成果があがっている。今後は企業体験を組み込んだ就職活動セミナーや正規雇用に向けたインターンシップ等を実施して事業内容の拡充に努め、さらに隣接県との連携も強化して若者の就職を支援していく。

議員 インターネット等の利用に伴い、子どもがトラブルに遭う場合がある。学校と家庭が連携して情報モラル教育を行うことが重要



インターネット・携帯電話の使い方のリーフレット

活力ある露地野菜産地育成の取り組みは

産地の生産・販売体制づくりを支援

議員(自民) 気象変動の影響を受けやすい露地野菜は、契約取引等による安定した販売先の確保が重要だと考える。活力ある露地野菜産地の育成にどう取り組むのか。

農林水産部長 生産面では、高品質化等に必要施設・機械の導入支援や畑地盤整備を推進する。また、販売面では、今後重要な販売先と見込まれる外食・中食などの業務需要に対応した契約取引が促進されるよう、新たに、産地の生産・販売体制づくりを支援する。

議員 平和の実現のためには、平和教育が最も重要であると考えているが、一人ひとりが平和の尊さを心から理解するための平和教育にどのように取り組むのか伺う。



レタス収穫の様子(結城市)

自殺対策は

「心援委員会」を設置

議員(自民) 自ら命を放棄していく人が八年連続で年間三万人を超えている。未遂者を含めるとその数倍から数十倍になると言われているが、今後どう対応していくのか伺う。



ボランティアによる水路の草刈りの様子

知事 昨年十月に施行された自殺対策基本法を受け、来年度から医療機関や商工団体などで構成する「こころ」といふ名の「心援委員会」を設置し、防止

対策や情報提供のあり方、相談窓口のネットワーク化などについて協議する。また、講演会やシンポジウムなども開催し、県民の関心と理解を深めていく。

議員 農村資源の保全と機能向上に寄与する「農地・水・環境保全向上対策」の円滑な導入に、今後どう取り組んでいくのか伺う。

農林水産部長 円滑な導入を図るため、今年度は県内十六地区でモデル的に実施した。本格的な実施となる来年度は、牛久市の牛久南部地区ほか、県内約二百地区、一万戸で実施する。また、活動計画づくりの支援や点検・評価を行う仕組みづくりなどを行う。

知事 両市の合併で三十万、周辺都市も加われば五十万都市の出現も期待され、合併は是非実現してほしいと考えている。両市の市議会議員有志による勉強会が合併機運の醸成につながるよう、積極的

つくば市と土浦市との合併は

市議会議員勉強会を支援・協力

議員(自民) つくば市と土浦市とが合併することで、都市機能が拡充され、自然資源に恵まれた、住む人にも訪れる人にも魅力に富んだ活力ある地域として発展できる。この二市の合併についての所見を伺う。

知事 両市の合併で三十万、周辺都市も加われば五十万都市の出現も期待され、合併は是非実現してほしいと考えている。両市の市議会議員有志による勉強会が合併機運の醸成につながるよう、積極的

関と連携し、努力していく。(ほかに、地域農業の再生、学校・家庭・地域社会の役割と責任の明確化なども質問)



TXつくば駅前の光景